

車座会議報告書

総務文教常任委員長 山崎 篤史

10月28日にもんてこい丹生谷運営委員会の12名の皆さんと意見交換会を行わせていただきました。

- 討議テーマ
- ①貴会が抱える諸問題について
 - ②移住・定住策について
 - ③政治に期待することは

まず、始めに殿谷会長よりもんてこい丹生谷運営委員会の活動について説明がありました。その後、3班のグループに分かれてグループ討議が活発に展開された後、各班の代表者から意見発表がありました。貴会が抱える諸問題については、「もんてこい」に対する批判もあるが、もっと認知度を上げるために旧町村単位でもんてこいまつりを開催してはどうかという意見や、もんてこいの番組をつくってケーブルテレビで流してみてもどうかという意見がありました。

移住・定住策については、実家暮らしには嫁、姑問題があるので、「マスオさん U ターン計画」を考えてみてはどうかという意見や、「孫ターン」と言って孫を大事にしていたら帰ってくる例を紹介してくれました。

また、木沢で行っているようなおためしハウスが旧町村ごとになれば、それぞれの地域の生活形態を学ぶことができると思うのでつくってほしいという意見が出ました。

政治に期待することについては、他の自治体に負けないような那賀町の素晴らしいところをPRしてほしいという意見や、子どもの頃から U ターンに繋がるような教育をすることが大切であるという意見が出ました。

今回の車座会議では、もんてこい丹生谷運営委員会の皆さんは住民に「帰ってきたい」という意識付けを目的としていて、戻ってきても働く場所があるのかということについては政治責任として、議会や行政の問題であることを認識し、政策を展開していかなければならないと感じました。

私たち議会は、今後も引き続き各種団体の方々や地域の皆さんとの意見交換会を実施したいと考えておりますので、意見交換を希望される団体・地域の皆さんは、遠慮無くお近くの議員または議会事務局までお申し付けください。ご連絡をお待ちいたしております。



班に分かれてグループ討議